

2021年度（令和3年度）第1回幹事会

日時： 2021年4月9日（金） 13:00～15:00

会場： Cisco Webex によるオンライン会議

出席者（敬称略）：

石切山一彦，伊藤滋之，岩井貴弘，岩月聡史，岩本仁志，宇田亮子，大塚利行，大城敬人，岡本行広，糟野潤，北隅優希，北山紗織，木村 恵一，紀本岳志，久保拓也，倉内奈美，桑本恵子，下赤 卓史，許 岩，白井 理，末吉健志，鈴木 茂生，鈴木 雅登，瀬戸康雄，高原 晃里，竹田 さほり，田中 章夫，田中陽，茶山 健二，塚越一彦，塚本 効司，辻 幸一，天満 敬，床波志保，中島陽一，中田 靖，中原 佳夫，中原武利，西埜 誠，萩森 政頼，長谷川健，東 昇，久本秀明，藤森啓一，藤原 学，堀山 志朱代，前田耕治，牧秀志，三戸彩絵子，向井 浩，村松康司，森内 隆代，森澤 勇介，森田成昭，矢嶋摂子，安川智之，山口 英一，山口敬子，山本佐知雄，吉田裕美，脇阪達司（計 61 名）

開会に先立ち，村松支部長より新年度の挨拶がなされた。

役員追加承認および新幹事・参与紹介

資料 No. 1 に基づいて，末吉庶務幹事により支部役員案の説明がなされた。異議は出なかった。続いて，本日出席している新幹事の挨拶がなされた。また，合同事務局による挨拶も行われた。

前回議事録の確認

資料 No. 2 に基づいて，末吉庶務幹事により前回議事録の確認が行われた。

1. 本部関係報告

(1) 本部理事会報告

資料 No. 3 に基づいて，末吉庶務幹事により本部理事会報告がなされた。紀本幹事より，総会がいつ開催されるのか，公益法人であるために，事業年度の 3 ヶ月以内に報告しなければならないこと，周知期間を 2 週間設定しなければならないこと，登記作業には時間がかかることを考えると猶予がないことを危惧しているという意見が寄せられた。

(2) 「ぶんせき」編集委員会報告

資料 No. 4 に基づいて，中原編集委員より報告がなされた。委員会はオンライン開催となったこと，お知らせのページが減ったことが報告された。また，トピックス，とびら，談話室，こんにちは，の執筆者がそれぞれ募集された。

(3) 「Analytical Sciences」編集委員会報告

資料 No. 5 に基づいて、安川編集委員により報告がなされた。特集号以降の記事の集まり具合は平年並みであること、科研費の繰り越しの手続きを行ったこと、海外委員の増員は予定されていないこと、投稿規定が改定されたこと、アンケートを実施予定であること、副編集委員長を 2 名とした体制に変更したことが報告された。また、依頼総説の推薦を募集していることが説明された。

(4) 「分析化学」編集委員会報告

資料 No. 6 に基づいて、久保編集委員により報告がなされた。2021 年の特集は「食」であり、電気分析化学研究懇談会の特集が予定されていることが報告された。また、討論会特集も予定されており、討論会での発表に関連している論文を募集していることが説明された。また、前田編集委員より特集記事は現在 7 報申し込まれていることが説明された。

2. 2020 年度 支部関係報告

(1) 2020 年度 近畿支部 事業報告

資料 No. 7 に基づいて、末吉庶務幹事より報告がなされた。コロナ禍のため支部事業の多くが中止となったこと、会議のほとんどがオンラインで実施されたこと、役員選考委員会は対面で実施されたことなどが説明された。

(2) 2020 年度 近畿支部 会計決算報告

資料 No. 8 に基づいて、糟野会計幹事より会計決算報告がなされた。講習会の収入が大幅減、懇親会費は雑収入として処理していることが説明された。一方で、交通費、会議費や支部事業支出等の大幅削減により、2020 年度会計決算としては黒字であることが報告された。また、第 70 年会の預かり金は、年会後に本部に返却予定であることが大塚実行委員長より補足説明された。

3. 2021 年度 近畿支部関係 事業予定・予算立案

(1) 2021 年度 近畿支部 事業計画

- ・ 常任幹事会・幹事会スケジュール

資料 No. 9 に基づいて、末吉庶務幹事より常任幹事会、幹事会の予定が説明された。

- ・ ぶんせき講習会

資料 No. 10 に基づいて、森田実行委員長より、基礎編その 1 は WEB 開催、基礎編その 2 と実践編は中止、発展編は 11 月開催予定であることが説明された。

・支部講演会 WG

資料 No. 11 に基づいて、向井委員より、2020 年 12 月の講演会報告と、2021 年度の第 1 回講演会が本日開催されること、第 2 回は横井先生の講演で 7 月にハイブリット開催を前提とした対面開催を予定していること、第 3 回は 12 月予定であること、第 4 回は 2022 年 4 月を予定していることが説明された。また、講演者の候補の推薦を募集していることが説明された。

・提案公募型セミナーWG

資料 No. 12 に基づいて、北山委員より、感染症対策の準備として、オンライン開催に対応したことが説明された。また、末吉庶務幹事によって Webex の補足説明がなされた。

・ホームページ&ニュース WG

資料 No. 13 に基づいて、田中委員より、ぶんきんニュースの発行予定と内容案が説明された。また、近分懇の入会案内が掲載予定であること、企業広告は例年通りであることが紹介された。

・若手セミナーWG

資料 No. 14 に基づいて、岡本委員より、対面実施の実現には不安があるが、どのような形でも開催予定であることが説明された。現状では企業広告が 1 件、財団からの支援が 1 件あることが紹介された。

(2) 2021 年度 近畿支部 予算案

資料 No. 15 に基づいて、糟野会計幹事によって説明がなされた。規模が縮小される予定の行事の予算を減額したことが紹介された。また執筆依頼に関する審議がなされた。異議はでなかった。辻幹事より近分懇の予算と決算のずれについての確認がなされた。

4. 2021 年度支部役員選考委員候補者承認の件

資料 No. 16 に基づいて、末吉庶務幹事により候補者の紹介がなされた。異議はなかった。

5. 日本分析化学会 第 70 年会の件

資料 No. 17 に基づいて、大塚実行委員長より説明がなされた。1 月にオンライン開催を決定したこと、ぶんせき 5 月号に会告を掲載予定であること、重要日程が決まったこと、研究懇談会の講演を実施予定、産業界シンポジウムは中止すること、若手公演のポスター賞を設定したこと、参加登録料を少し値下げしたこと、オンライン交流会は無料とすること、実行委員会を改組したことが紹介された。紀本幹事より、オンライン開催なら無料にできないのか、内訳はどのようなものか、赤字開催でよいのではないか意見が出された。牧幹事より

予算としては健全なものであるが、ほとんどが業務委託費になっていることが説明された。

6. 近畿分析技術研究懇話会

石切山会長より、例年幹事会で個人会員を集めていたがそれが難しい、後日年会費や寄付金に関する案内をしたいという旨が説明された。

7. その他

(1) Cisco Webex 近畿支部アカウントの利用法について

末吉庶務幹事より、近畿支部のアカウントを1件契約したことが紹介された。また、その利用についての案内がなされた。

(2) 「有功賞」候補者の推薦について

資料 No.18 に基づき、末吉庶務幹事より推薦の承認が求められた。異議は出なかった。

(3) 共催、協賛など

資料 No. 19 に基づき、末吉庶務幹事から1件の協賛依頼が来ていることが紹介された。異議は出なかった。

以上